

サン・レモだより

令和4年度 前期号



「写真提供：(一社)長崎県観光連盟」



医療法人 心々和会 サン・レモリハビリ病院 広報部

佐世保市江上町4848-1 ☎ (0956) 58-5900

[http:// kokowakai.or.jp/sanremo/](http://kokowakai.or.jp/sanremo/)

新年度に向かって



理事長 浅井 貞宏

令和4年度が始まりました。

皆さん昨年度末(令和4年1月14日～2月28日)には、新型コロナウイルス(オミクロン株)によるクラスター対策、本当に御苦労様でした。

荒木感染対策室長、森看護部長はじめ、病棟スタッフ他、職員全員の努力で、クラスターを新年度に持ちこすことなく終息させることができました。

伝染性の強い感染症の怖さを実感するとともに佐世保市保健所、佐世保市総合医療センター、長崎大学など、

多くの方々の御援助を得て終息できたことを感謝致します。

このクラスター対策の概要は他の医療施設にも参考になるよう、令和4年5月13日に行われた“佐世保市医師会感染症部会25病院対象Web意見交換会”において荒木先生が発表しました。この発表を聞いた他の病院関係者からは、「非常に参考になる発表でした。」「私たちの病院でも参考にさせていただきます。」などの感想を多く聞きました。

新型コロナ感染症はこれからも、さらなる変異株などによる流行の可能性があります。職員一同ウイルスの持ち込みに充分注意しましょう。

話は変わりますが、佐世保国際通り病院(新病院)が開院して1年が過ぎました。コロナワクチン接種も累計12000回を超えています。地域包括ケア病棟は3月より34床と倍増しました。10月からは地域包括ケア病棟入院料1の取得を目指しています。これには在宅復帰率72.5%以上が必要です。このためにも両病院地域連携室間並びに関係職員間の連携をさらに密接にいたしましょう。

さて本院には4月から原 真一郎先生(整形外科専門医)が労災病院から就任され、診療に新しい力を得ました。先生の益々の御活躍を願います。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を経験して —総括と今後の対策について—

医療法人心々和会 サン・レモリハビリ病院 荒木 潤

まず最初に入院患者様、並びにご家族の方々に、新型コロナウイルス感染症で多大なご心配をおかけした事をお詫び申し上げます。今回、国内でオミクロン株(BA.1)による第6波の流行の中、当院でも2022年1月14日に初めて2カ所の病棟でそれぞれ1名ずつのコロナ感染が発生しました。その後、職員および入院患者様におきましても感染者が出て、皆懸命に感染予防に努めましたが、その1週間後には感染者が増加しクラスター(集団感染)となってしまうました。皆必死になって感染拡大させないよう頑張りましたが改善せず、担当病棟では職員の感染や濃厚接触者などで休職者が増え、長崎大学病院、県、市、DMAT、他の病院に応援を要請する事と致しました。病院全体の助け合いと多くの院外からのご支援の結果、やっと2月17日の1名を最後に感染は収まり3月1日に終息しました。今回、職員一同この時の辛さ、大変さを忘れないようして、もう一度振り返って反省し、このようなクラスターを二度と起こさないようにしないとイケないと思います。現在オミクロン株はBA.2とより感染性の強い新しい系統におき変わりつつあり、市中でも感染が増えてきています。私たちがいつ感染するか分かりません。大切なことは、一人一人感染予防する事と、もし感染しても、他に感染を広げないという事です。自分がかからないためには三密(密閉、密集、密接)を避け、基本的にマスク着用、手指衛生(アルコール消毒、手洗い)に気をつけることです。また他者に感染を広げないことも基本的には同じです。ただ病院関係者はより厳密にすることが大切と思われ、患者様と接する場合、手袋、ガウンなど患者様ごとに換え、PPE(個人用防御具)の着脱を再度確認して、病院内の換気、消毒を定期的に行ない、今後も感染予防を徹底してやっていきます。そして患者様方に安心して快適な入院生活を送れるようにしていきたいと思っています。

新しい医師の紹介

原 真一郎 医師

私は、久留米大学付設高校卒業後、長崎大学医学部入学、長崎労災病院を中心に関連病院を数か所回り今年の3月に定年退職となりました。本年4月よりサン・レモリハビリ病院で整形外科として勤務をしています。趣味は山登りで、北は北海道の大雪山、南は屋久島まで登りました。そのほか尾瀬を一周したりしました。現在子供達も巣立ったため、妻と久住を中心に登っています。コロナ禍の厳しい状況であります但し落ち着いたらまた久住に登りたいと考えています。



新型コロナウイルス感染防止対策について



本院では、1月から2月にかけて新型コロナウイルスの大規模クラスターが発生しました。今回、感染の原因を分析し反省する中で、これまで実施していた感染予防対策は過去の習慣により行われていたことが多く、早急な見直しが必要であると考えました。

スタッフ全員がその感染予防対策についての根拠を理解し、正しく実施できるようマニュアルを改正しました。マニュアルを周知徹底することで感染予防に努め、陽性者が発生した時には感染を最小限に防ぐことができるよう対応していきます。

- 1 患者様に接するときは、標準予防策を実施しています。
(N95マスク、エプロン、手袋、ハットキャップ、フェイスシールドの着用)
- 2 毎日の環境整備は、クリネル(除菌シート)を使用し丁寧に拭き上げています。
- 3 排泄物は感染源となるため、これまで以上に注意して取り扱っています。
- 4 オムツ交換は、効率的でより感染予防対策を重視した方法に変更できるようユニ・チャームの担当者と検討中です。
- 5 入院後3日間はコロナウイルス陽性者として対応し、個室へ入院、他患者様との交わりを避けて対応しています。
- 6 個人防護具の着脱方法についてはスタッフ全員が正しくできるよう各病棟で定期的に訓練をしています。
- 7 院外では、決められた行動制限を厳守し感染リスク行動を控えた生活をしています。



患者様と接するときの様子



排泄物の取り扱い



防護具着脱訓練の様子



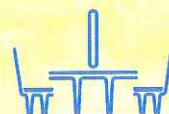
クリネルでの環境整備



食事に対する感染予防

食事を行う際も感染予防を行っています。

- 1 食事前の手指消毒の徹底。
- 2 飲水コップのストローの毎回の交換。
- 3 食事をするときにパーテーションの設置やテーブルあたりの人数制限を行う。
- 4 食後すぐにマスクの着用をお願いする。



写真のように1つのテーブルに2人までとし、パーテーションを間に置くなどして食事を行っています。職員の休憩室にもパーテーションを設置しており常時換気を行うなど職員の休憩時間にも感染対策を行っております。



食事前の手指消毒の様子



感染予防を第一に考え、患者様のコミュニケーションの場を設けることも考慮しながら楽しく入院生活を送って頂けるよう努力していきたいと思っております。

感染症対策（リハビリテーション科）

いまだ収束の兆しが見えないコロナ禍において、無症状感染の報告も増加傾向にあります。当院ではスタッフと患者様がお互いに濃厚接触者とならないよう、マスクを着用し、こまめな換気や手指消毒の徹底など、様々な感染予防対策を実施しています。運動不足や精神的ストレスは、心身に悪影響を及ぼします。今後もしっかりと感染予防に努めつつ、安心・安全なリハビリテーション業務を行っていきます。

病棟での机上訓練



- 「3密」(密集・密閉・密接)にならないよう環境作りを行う。
- 使用前後に机上および器具の消毒を行う。
- 手工芸等の材料は個別保管とし、共有を避ける。
- 患者様との距離に配慮するとともに、直接の対面対応は避ける。
- 近接場面ではフェイスシールドやアクリル板を使用する。

病棟でのADL訓練



- 廊下や階段などの手すりを使用した場合は消毒を十分に行う。
- トイレや浴室などは飛沫やエアロゾル感染のリスクが高い環境である為、マスクに加えてフェイスシールドも使用する。
- 前方からの介助は極力避け、横または後方から介助を行う。
- 1介助1消毒を心掛ける。

通所だより



通所リハでは通所とB棟の間にあるスペースを使い、お花や野菜を育て利用者の方にも、**植ええ・草むしり・収穫**などに参加していただいております。
利用者の方々に色々教えて頂きながら行っており、既にキュウリがどんどん収穫できています♪



一足早くヒマワリが咲きました☆



枝豆の赤ちゃんも成長中♪



何も無いように見えますが…



コスモスの芽が出てきました♪



秋には芋掘りも予定しています♪

空地だった場所をたくさんの方にご協力頂きながら畑作りを始めました。
今では「畑に行こう!」と利用者さんから言われる事も☆
外の空気に触れて、皆さんリフレッシュされています♪
今後も野菜やお花で四季を感じ、楽しんで頂けるように計画中です!!♪





食堂の新メニュー

チャプチェ



導入理由

春雨料理は残食が多いため、
味に変化を出したく韓国料理を導入しました。

患者様の声



味がはっきりしているためご飯が進む

色々工夫せんでも、和風の方が好きよ

実際提供したチャプチェは患者様から**好評**でした！

患者様はご飯の上ののせて食べる方が多かったです！

残食については…

チャプチェ→1.5 kg

他の春雨料理→平均 2.0 kg

少し残食を減らすことに
成功！！



今後も定期的に比較を行い評価していきたいと思えます。

給食課

編集後記

院内での新型コロナウイルスが終息して一安心しましたが、世界的にはまだまだ感染は落ち着いていないようです。

毎日気温が高く、蒸し暑い時期が続いて大変だとは思いますが、熱中症に気を付けながら、マスクや手指消毒など感染対策を行い、感染には気を付けていきましょう。

(広報スタッフ一同) (令和4年度 前期号 通算28冊目)